ＡＩ導入支援を本格化

理研産業が中小企業向けに



バランスの担当者㊥と打ち合わせをする理研産業の久保田勝彦社長㊨と牛尾常務

顧客別 業務アプリ提案

情報通信技術（ＩＣＴ） 理研産業（広島市中区）コンサルティングなどの は、中小企業向けの人工知能（ＡＩ）の導入支援を本格化する。営業記録のデータ検索や書類作成ができるＡＩアプリの活用を提案し、人手不足などの課題解決につなげてもらう。

ＡＩを活用したシステム開発を手がけるスタートアップ（新興企業）のバランス（東京）と業務提携した。同社が運営するプラットフォーム上で、導入企業に自社のニーズに合った業務用のＡＩアプリを作ってもらう。営業記録や生産・販売管理といったデータの整理や検索、提案書作成などでの活用を想定する。費用は月額数万円からで、導入後も活用を支援する。

理研産業によると、地場の中小企業にはシステム開発の担当者がいないケースが多く、人手不足の解消につながるＡＩ導入が遅れているという。牛尾祐三常務は「比較的安価で簡単に作れるＡＩアプリを通じ、より多くの中小企業が業務効率化を図るきっかけを提供したい」と話している。（赤江裕紀）

(C) 中国新聞社 無断転載、複製及び頒布は禁止します。